

質 問 回 答

2019年9月3日

「(案件名) 全世界 2019 年度案件別外部事後評価パッケージ IV-4(チュニジア、インドネシア、インド)」

(公示日:2019年8月21日/公示番号:18a00032)について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第3 特記仕様書案 26 頁 ○「3. 実施方針および留意事項」 (7)インドネシア「北西スマトラ連携 送電線建設事業」の全サイト(北ス マトラ州及び西スマトラ州の変電所 各1箇所)	円借款案件の場合、事業実施中にサイトを含め 計画変更があるケースが多いため、実施後の PCR 等に記載されている実績ベースの対象サイ ト名をご教示いただきたく宜しくお願いします。	見積は計画時のサイトを参考に行っていただ ければと思います。実施後の対象サイトは契約時 にお知らせすることを想定しております。
2	企画競争説明書 p27 「5.成果品 等(1)報告書等」 ア.現地調査用説明資料(言語)、 エ.評価結果票案(言語)	チュニジア案件は英文版に加え、仏文版の成果 品が必要と拝察しますがいかがでしょうか。(例 年、ア.については評価者通知レター、エ.につい ては、書面評価フィードバックにて相手国政府機 関に対して英文版に加え、仏文版資料も発出され ると拝察します)	ご指摘の通り、以下の報告書等は仏文資料を作 成いただく必要がありますので下記のとおり修正 します。 ア. 現地調査説明用資料 案件ごとに英文(インド・インドネシア)乃至仏 文(チュニジア)1部・電子版(メール送付可) エ. 評価報告書案 簡易型評価対象案件ごとに和文・英文(インド・ インドネシア)乃至仏文(チュニジア)各1部・電 子版(メール送付可)
3	仏文版資料の翻訳費計上	上記にも関連いたしますが、チュニジア案件にお いて仏文資料の翻訳費用の計上は可能でしょ うか。(質問票、入手資料、評価フィードバック資料	可能です。

		の作成等で必要と考えます。また、相手国政府機関から求められることもあると承知しております)	
4	企画競争説明書 p26、p30 定性調査にかかる表記	企画競争説明書 p26 において、「「イ 質問票等を用いた情報収集・整理」に際されている評価判断に必要な定性及び定量調査を実施する案件はない」と記載がありますが、p30 に「「イ 質問票等を用いた情報収集・整理」に記載する定性調査にかかる 0.1MM」とあります。定性調査の扱いについて、整理をお願いできますと幸いです。	定性調査の実施は想定していないことから、MM に係る表記を削除させていただくとともに、下記の通り修正します。 第 4 実施上の条件 ○「6. 現地調査補助員の備上」でいう現地における補助員の業務量は以下の通り。合計で 2.30MM 程度を目安とする。この業務量には、以下が含まれる。 ➤ IRR の再計算に必要とされる 0.1MM 程度「4. (2) 第一次現地調査」でいう「イ 質問票を用いた情報収集・整理」に記載する定性調査にかかる 0.1MM。
5	企画競争説明書 P26. 対象案件と要員配置	3 カ国、異なる地域の 3 案件が対象ですが、「3 案件、3 名体制」にて要員を配置して業務に臨むことを考えております。かかる体制によるプロポーザル評価上の減点(要員配置)は生じまじすでしょうか。	要員計画の説明によります。

以上